

◎ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

列子伝といふ文に a いはく、弧丘といふ人、孫叔敖に語りていはく、「人に①三怨あり。これを知るや」。叔敖いはく、「なにをかいふ」。答へていはく、「爵の高きは、人これをねたむ。b 官の大きなるは、主これをにくむ。禄厚きは、怨これに及ぶ」といへり。九条殿、右大臣辞し給ふ時の表の文に、文時卿書ける、

家 好 儉 素

家は儉素を好んで

不 奈 龍 洞 之 愁

(A)

禄 致 陳 紅

禄は陳紅を致して

恐 乖 弧 丘 之 誠

② 弧丘の誠に乖かむことを恐る

問一 —— 線部 a 「いはく」・b 「官(くわん)」を現代仮名遣いに直して答えよ。ただし、すべて平仮名で答えること。

a (いわく) b (かん)



問二 () 部 A について、「不奈龍洞之愁」を書き下し文に直して答えよ。

龍洞の愁を奈ともせず

問三 —— 線部①「三怨」として正しくないものを次から選び、記号で答えよ。

- ア 位・地位が高いことに対する人のねたみ
- イ 官職の高い部下に対する主のうとましき
- ウ 贅沢の限りを尽くす役人に対するうらみ
- エ 俸禄(給料)が高いことへの人の嫉妬心

ウ

問四 —— 線部②「弧丘の誠」とあるが、ここで述べられている教訓とはどのようなものか。「恨まれる」「注意」という言葉を用いて、四十字以内で答えよ。

け	も	他	地
れ	多	者	位
ば	い	か	や
な	こ	ら	給
ら	と	恨	料
な	に	ま	が
い	注	れ	高
。	意	る	い
	し	こ	と
	な	と	、